

さざなみ : **滋賀医科大学附属図書館報** No.13
(1982.9)

発行年	1982-09
URL	http://hdl.handle.net/10422/1124

***** 特 集 *****

編集部では、利用者の声を誌上に載せようとインタビューを企画しました。下記の質問項目にそって率直な御意見をおきかせください。

利用者の声



1. 施設について
2. サービスについて
 - ① カウンター
 - イ 館員の対応
 - ロ 参考調査、相互貸借、情報検索
 - ② 貸出冊数、期限
 - ③ 開館時間
3. 資料について
 - ① 内容(質・量)
 - ② みつけやすいか
4. その他

1. コピーの台数を増加してほしい。
ビデオ・ピクチャーサーチをつけてほしい。
解像力がもっとほしい。

- 2.② 期間を倍(2週間)にしてほしい。
③ 平日は9時、土曜日は8時まで開館してほしい。

- 3.① 副本をもっと揃えてほしい。新刊書をもっと多く。医学書に限らず、科学技術系の専門書をもっと多く。ME関係の学会誌なども入れてほしい。(1年生)

- 2.② 期限は2週間にすべきでは?
③ 7時頃までで良いのでは?

- 3.① 量の点では他大学との比較は問題外。ただし、新設大学の図書館として特色ある資料を収集しひとつの「名物的コーナー」を作るのもおもしろだろう。
② 書棚の整理が悪い。各所に案内板を設置してほしい。(2年生)

- 2.①イ 素っ気ない人もいる。
② 現在のままでよい。

- ③ 朝8:40から開館してほしい。
- 3.① 一般教養図書の冊数を増やしてほしい。
利用頻度の高い本は副本を揃えてほしい。
② みつけにくい所もある。(2年生)

1. コイン式コピー機の台数を増やしてほしい。
1人用机が狭い。自由閲覧室を防音にしたい。
- 2.①イ 親切です。
② 単行本の貸出期間を2週間にしてほしい。
③ 現状でよい。
- 3.① 新刊書をもっと入れてほしい。
② 分類がわかりにくい。(3年生)

1. 2階のゴミ箱が少ない。これ以上要求することはない。こんなすばらしい図書館で学べるからオレは幸せ。窓の外の庭園の眺めはぜいたくと思えるほどよい。
コピーの機械をもう一台ほしい。
- 2.①イ 最高に良い。
② 未製本の期限が短かすぎる。1週間ほしい。

- ③ 7:00頃から開館してほしい。閉館時間は10:00まで。日曜日オープンしてほしい。

- 3.① ビデオを増やしてほしい。哲学、心理学の分野の本を増やしてほしい。
② 製本準備中の本（及び製本中の本）がいつ頃戻るか常に掲示してほしい。

（4年生）

1. コピー機の増設を。グループ室の音が大きすぎる。椅子はすわり心地がよい。ビデオ設備はすばらしい。
2.①イ こちらが誠意を示せば対応もよい。
ロ 予約図書、購入希望図書への対応、回答が遅い。
② 冊数は現状で充分。未製本雑誌も1週間にしてほしい。期限を守らせるようパンチは厳しく。
③ 午後8時までであるのはありがたい。
3.① 利用度の高い本は副本を揃えてほしい。

（4年生）

1. 冷暖房を気温にあわせて調節してほしい。（特に夜間暖房）。自由閲覧室の討論がうるさい。1,000円、500円の両替機を置いてほしい。
2.①イ 常に笑顔で、明るいイメージがほしい。
② 未製本雑誌の貸出期間を1週間にしてほしい。
③ 夜9時まで開館してほしい。
3.① 新版が出たらすぐ入れてほしい。新潮文庫、角川文庫を入れてほしい。ベストセラー的な本も入れてほしい。
② スライドとビデオの見やすいリストを作してほしい。

（4年生）



1. 冷房を早い時期から入れてほしい。自由閲覧室の音が聞える、防音を。コピーの故障が多い。

- 2.①イ 良い。

- ② 未製本雑誌の貸出期間が短い。（5日ぐらいに）

- ③ 適当

- 3.① 科によって少ない科がある。（小児科、耳鼻科、眼科）。著名な本（良く使う本）については複数入れてほしい。

- ② 適当

（5年生）

1. ①玄関ホールところにロッカーでない簡単なラックを備えて、カバンや上着等を入れられるようにするといいい。②2階のすべての閲覧室を私語厳禁とする。そして現在の自由閲覧室を1階の雑誌閲覧室に移す。こうすれば静かに勉強したい人の場所が確保できる。
③閲覧室の照明が不充分。特に2階の第一閲覧室は昼間でも暗い机がある。ぜいたくのようなだが机毎に蛍光灯がほしい。④第2閲覧室の大きなテーブルのまん中にプライバシーを守るための目の高さ位のくもりガラスのついた立がほしい。⑤夏はぜひクーラーを入れてほしい。⑥もっとゴミ箱を増やすべし。⑦土足禁止を徹底すべし。

- 2.①イ 貸出係の方がカウンターのところにおられなくて待たされること。返却手続きに手間取ることの2点が不満。また、貸出の時「〇〇日までです」と声をかけてくれる係の人は感じがいい。

ロ 文献のコピーを学外に依頼するとき、

送料を含む費用とかかる日数を知らせてほしい。

② 図書の数が少ないこと、及びコピー普及の点から専門書については貸出期間を現行の貸出日を含め8日間を5日間に短縮してもいいのではないか。他の点は今のままで良い。

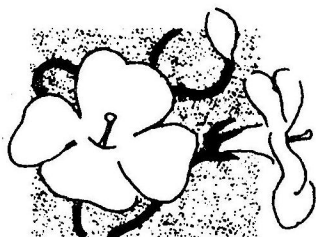
③ 朝9時開館を30分早めて、8時30分にしてほしい。また、土曜日7時にのばしてほしい。

3.① 指定図書のような性格の本は複数入れてほしい。問題集やトレーニングブックも入れてほしい。図書の数が少ないのは予算の都合で仕方ないとして、学生がよく利用するであろう本を優先して入れてほしい。

② 生理学や循環器の本は一ヶ所だけでなく、向い側や反対側の書架にも並んでいて見つけにくい。なるべくまとまりのあるように並べてほしい。

4. カウンターにあるビデオの目録はカタカナ表記で見にくい。以前の漢字タイプのものが良い。講義の中でもビデオがとり入れられるように働きかけてほしい。

返却された本はいつまでもカウンターのところに置いておかず、なるべく早く書架に戻してほしい。 (5年生)



1. 自由閲覧室と一般の閲覧室との間の防音をもっとしっかりできないか。現在設置してあるコピーの解像度は前のものより大分悪いが改良できないか。コピーの機械用に両替機がほしい。

2.① ロ 図書の検索システムをマイコンを利用して充実できないか。返却予定日も分ると良いが。

② 製本雑誌についても貸出期間を3日間に短縮してほしい。

③ 開館時間を9時頃迄延長できないか。土曜もさらに1時間。

3.① 教科書的な本、或いは良く借りる本は禁帯出の本を一冊設けられないか。免疫、整形、膠原病関係が充実していない。

② 特に問題はないが。(6年生)

1. 新しく入ったコピーの性能が悪い。また、2台のコピーの機械がほしい。

自由閲覧室の防音を!

2.① ロ 行なったことなし。

② 未製本雑誌の貸出期間を5日間に!

③ 9:00~8:30に。

3.① よい。

② よい。(6年生)

1. 現状で良いと思います。コピーの解像力が以前より悪くなったと思います。100円、50円玉等を使わずに1枚15円と決めてしましてほしい。

2.① イ 現状でOK。

ロ あるテーマに関して最近の雑誌 or Text、和・洋合わせてComputerで直ちにできませんか? 文献を探すエネルギー

と時間の節約をしたい。

③ 日曜日の開館をお願いします。

3.① 本の種類はある方だと思います。但し、例外は別として同じ本を何冊も入れるより種類を増やした方が良くと思います。同じ本は2-3冊までで良いと思います。整形外科、眼科系の和雑誌が少ないと思われます。「肝、胆、脾」を入れて下さい。

② 学生の身分では文献を探すのにみつけないシステムであるのが現状だと思われます。
(6年生)

1. コピーの機械を複数設置してほしい。冷房(特に2階)を早くからお願いしたい。その他の机、椅子等の備品、ビデオ室は満足している。(グループ利用のビデオテレビは、もっと大型の方が良い。)

2.①イ しばしば館員がカウンター近くにいないくて借りる場合、返却する場合時間がかります。

ロ 利用していない。もっとPRして下さい。

② 雑誌は5日程度まで借りられるとありがたい。冊数は今迄通りで良い。

③ 講義の始まる前 8:30開館が学生には好都合です。閉館は今迄通りで良い。日曜日に利用出来るとありがたい。

3.① 水、電解質に関する図書も少ない。雑誌に関しては各施設の出しているものを増やしてほしい(日本の病院、施設等)。社会福祉、障害者関係、医療に関する雑誌がほとんど見当らない。図書でも、社会福祉関係或いは地域医療、医療政策、経済、医療倫理関係が極端に少ないと思います。

② 慣れれば利用し易いです。

4. 新聞を増やしてほしい。朝日、毎日、読売の三大紙は最低必要。できれば立場を明確にしているいくつかの新聞も。(6年生)

1. 1階に比べ2階はうるさい。自由閲覧室の音が聞こえたり、ロビーの音が2階まで聞こえる。夜照明は暗い。臨機応変の温度調節を。

2.①イ 職員は各々個性があり親切。

ロ 相貸はテレックスで早くなった。検索はSDIは忙しいとき助かる。マニュアルより時間、労力の節約。100%カバーという点では不安。

② 現状でよい。期限が長いと他の人が読めなくなり困る。

③ 土曜日でもできたら8時まで。

3.① 雑誌の種類、バックともに不足。

② 見つけやすい。雑誌は1ヶ所においてほしい。

4. ブラウジングコーナーが雑談の場所になっている。新聞は図書館に置かなくてもよい。

(基医教官)



1. 設計がうまく機能的にも良い。照明はいいが、防音は不十分。2階は暑いときがある。禁煙でよい。2階にもキーカウンターが使えるコピー機を置いてほしい。

2.①イ 問題なし。

ロ ケース・バイ・ケース
相互貸借の料金は高い。

② 別に問題なし。雑誌は必要なものはコピーして読むので現状でよい。

③ もう少し長い方がよい。

- 3.① 雑誌はバック、種類とも不足。ない方が多い。これがすべて。単行本も少ない。
- ② 見つけやすい。雑誌は1ヶ所にまとめておく方がよい。 (基 医 教 官)

1. 自由閲覧室の音がうるさい。自由閲覧室に防音を。1階はまだまし。照明は良い。

2.①イ ふつう

ロ 相貸、料金は高い、所要日数は普通。検索は自分の情報のかたよりを修正するために利用。若手には自信を与え意欲がわく。50%のヒット率で満足。

② 冊数、日数は今のままでよい。未製本雑誌はコピーするから一夜貸でもよい。

③ 今の開館時間でよい。

3.① 新しい図書館だからバック不足は当然。啓蒙書(岩波自然科学選書など)が少ない。

② データ集を1ヶ所にまとめてほしい。

4. 全体にマナーが悪い。声が大きい。受入雑誌のリスト、所蔵目録を各教室に配布してほしい。

開館時間以外に利用できる場所の提供。

(基 医 教 官)

1. 広くて美しいので利用しやすい。

2.①イ 親切である。

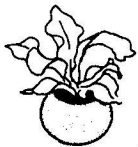
ロ 日本の文献が調べにくい。

② 貸出期限を延長してもらいたい。

③ 現状のままでよい。

3.① 量的に少し少ないと思う。

② みつけやすい。 (臨 床 教 官)



1. ①コピー利用の際両替に困ります。1,000円より100円玉に。②自由閲覧室の防音をお願いします。③冷房をもう少し早い時期からお願いします。

2.①イ 良い。

ロ 相互貸借が時間がかかりすぎて役に立たない。(製薬会社より雑誌を借りる)

② 未製本の期限を4日にしてほしい。

③ 夜9時迄時間をのばしてほしい。

3. Back Numberの抜けている本がないようにお願いします。新刊をもっと入れてほしい。単行本が古すぎます。免疫関係の月刊雑誌が備えてないのでお願いします。

(臨 床 教 官)

1. 施設が美しい。学生が大声で話すのでやかしい。特に閲覧室の声。

2.①イ いい人も悪い人もいます。

ロ 相貸、おそくて役に立たない。

検索、いつも利用して大変便利。

② こんなものですか。

③ 閉館時間が他施設と比べ遅くて助かっている。

3.① 質量とも少ない。雑誌は特に古い年代。

VTRのテープを増やしてほしい。語学テープをLLから移す。単行本では教科書的なものが少ない。教官用の基礎研究分野の不足。今の状態は学生向き。医学関係に重点が置かれすぎている。他の分野も充実してほしい。

② まあまあ。専門別のリストが必要。

4. 有料コピーのおつりがでないことがある。

(臨 床 教 官)

1. あまり利用しないからわからない。

2.①イ 普通。

- ② 10日間に延長してほしい。
- ② みつけやすい。 (病院技官)
- 3.① 看護関係の単行本、雑誌を多く入れてほしい。
- ② みつけにくい。 (看護部)
1. 館内は静かで明るく非常によい。
冷暖房を考慮してください。
- 2.①イ よい。
ロ 図書、雑誌の貸出、返却の手続きが簡便でよい。
- ② よい。
- ③ よい。
- 3.① 必要とする年代の文献がないケースが多い。(例 Analyt Biochemの場合1965年以前のものが……など)。
1. 管理棟より快適。
- 2.①イ 特に悪い印象はない。
ロ 経験なし。
- ② 貸出期限が短い。3週間ぐらいに。冊数はよい。
- ③ 今のままでいい。
- 3.① 単行本の内容が高すぎる。
一般教養書、実用書をそろえてほしい。
量が少なすぎる。
- ② わかりやすい。
4. 仕事上、頻繁に使わないけれど、いざ必要だという時にそういう本が図書館にない。
- (事務局事務官)

～．．．．．ことば・ア・ラ・カルト．．．．．



医者 と 酒 と ウイスキー と



医の古い字体は、御存知醫である。医は今ではいやす、とか医者あるいは、くすし(一薬師)が第一義である。醫の方は、もともと病む声とか見苦しい姿を示す「毆」(えい)と、酒、酒をもった器の意の「酉」(とり)から作られた。酒の力を借りて勢い病む声を静めたことは類推できるが、これを更に遡ると醫は壺からなり、巫(みこ)とあるのはその昔呪文を唱え超自然の力即ち魔力により病をいやしたからだと記録は語っている。そういえば、医は巫の意義が奇(くす)しくのりうつて神位の座も占めているのか。元来「矢を入れておくうつわ」のことだった。こうしてみると、医よりも醫の方が遥かに人間味が感じられてならない。

ところで先日、久しく外国帰りの知人に“Scotch whiskies”を丁戴した。このウイスキー、実は水の意ある酒よりずっと水水しい。その源はゲール語(スコットランド北部やアイルランドで使われていたケルト系の言語)の uisge(水)と beathe(生命)とから由来して、即ち「生命の水」となる。これが時の英国王ヘンリー8世の目にとり、本家よりイギリスで流行(はや)りに流行って、18世紀初めあたりからこの言語がどんどん英国風に変化し、usquebaughからusqueだけに、そしてuskyからwhiskyへとなったと思われる。末は「生命の水」はウイスキーボウ(whiskybau)となるべきところ、短かく切られ「水」が残ったという次第。(アイルランド産は一keyとなる。)

先達によれば、医学を志す者先ず水と空気を探求せよ、と。医・醫と同様に酒の西洋版もあながち無関係とはいえない。「医者の不養生」をいやすのに、百薬の長ならぬウイスキーも一役担うことになる人もいると思うがいかに。

(久)

自由に、開放的に、流れる水の如く

～ 第 1 解 剖 ～

前 田 敏 博

基礎医学研究棟の5階西端の一角が第一解剖である。南側に居室が、北側に大研究室と暗室が並んでいる。その隣は第二解剖であるが、そこに足をふみ入れてみるとどうもおかしい。どこか似ているが違う。誰もが不思議に思う。

昭和50年4月、わが教室は私と木村助手（現第2解剖助教授）とで大阪大学に一室を借りてスタートし、まもなく今本助教授の着任とともに守山仮校舎に移り、51年夏、田村技官ともども現教室に定着した。ところが建物の設計は開学以前にされたので、生来無精の私は越智教授の作られた図面を一寸お借りし、裏向きに写して1解剖図面として提出した。つまり1・2解剖は鏡像になったのである。かくして木村助教授はこちらの世界からあちらの世界へと移り住み、若い人々はいつも反対空間を行ったり来たりすることとなった。

中身の研究にも研究者にも特に枠決めをした訳ではなく、何事も流れる水の如く適当に進んで来たように思う。教室の扉も心の扉も常に開けておこう。研究は自由度高く行おう。研究の水準は最高に保とう。これが私のモットーである。現在研究中の主なテーマを列举すると、アミンおよびコリン作動性神経系および各種ペプチドニューロン系の化学解剖的解析、神経膠細胞の発生と機能、脳血流の神経調節機構などがある。また、一般組織化学や免疫組織化学の技術革新には、最重要課題として力を注いでいる。

そのほかに学内外の臨床教室から人が来て各々のテーマで研究を行っている。網膜神経節細胞の投射様式、グリオーマと特異抗原、創傷の治癒と自律神経 etc から水虫の微細構造に至る迄手広い。これはとかく馬車馬的になり易い基礎の研究者に広い知識と刺激を与えてくれて喜ばしい。

私は芭蕉が好きで、彼の眠るこの地にいることを運命的にさえ思っている。特に晩年の思想「不易流行、の考えはまことに味わい深い。この一見矛盾する言葉の組合せを常々研究にもあてはめている。自由奔放に流れていく水もやがて大河となって悠久の世界を流れる。教室の研究もそうであってほしいと思う。

一方、解剖学は医学専門教育の初めに位置し、情操的に学生に与える影響力は大きい。したがって、鏡像をなす二教室も献体にかゝわる仕事には全く一つになって行動している。解剖実習開始以来すでに5年、本学のそれがご遺体受取りに始まりご返骨に終る一連の触れ合いを通しての人間教育を基調としていることが根づいたように思う。しゃくなげ会についての話は他の機会にゆずるが、解剖教室と大学外との社会的、人間的にかゝわりあいは非常に多い。大変といえば大変だが、これまた世間知らずになりがちな私どもに天の与えし教育と思えば、有難いことではないだろうか。

（解剖学第一講座 教授）

障害児者のため医療のネットワークを

高 谷 清

びわこ学園は重症心身障害児の療育施設です。来年で創立20年を迎えますが、20年前は日本に重症児施設としては東京に島田療育園ができたところで、びわこ学園は日本で2番目にできたこととなります。

ちえおくれの子供たちの施設である近江学園から発展し、現在の岡崎園長が、近江学園から重い障害の子供たちを何人かつれて大津市の長等公園の上につくられた施設に移ってきました。その後、昭和41年には第2びわこ学園（野洲）が開園しました。

当時西日本に一つしかない重症児施設であったため、各地から入園希望者が殺到し、西日本一帯からの入園児がありました。やがて各地に重症児施設がつくられ（現在全国で128施設）、びわこ学園に入っていた子供たちも、それぞれの地元へ帰り、現在は滋賀県の子供たちが中心となりました。

開園当時から外来診療を行ってきましたが、医師不足や職員の腰痛多発などで、継続的に行えなかったのですが、昭和52年より週2日ですが定期的に行えるようになりました。外来は90%以上が滋賀県の障害児（障害のない子のてんかんや問題行動も含まれる）です。

障害をもつ子がこんなに多いのかと驚くほど、つぎつぎと新患の申込みがあります。滋賀県全域にわたっているため、2時間以上かかることもあります。また、障害によっては母親がひとりですれてこれないため父親が会社を休んで車を運転したり、また保育園や学校の先生と一緒に来られます。

困っていることの一つは救急時のことです。てんかん発作の重積や一般状態が悪くなったとき、近くで診てもらえないことがあり、またびわこ学園もいつでも受けとめる状態がつかれないこともあり、大変困ることになります。これは障害児の問題というより救急医療の問題だと思います。

びわこ学園はいま「将来構想」を検討しています。それは単にびわこ学園を移転したり、大きくするだけでなく、滋賀県の障害児に対する総合的なとりくみを考えることになっています。医療（リハビリを含む）、発達的な相談、とりくみ、種々の相談活動などが必要となります。

もちろん滋賀県の障害児の医療、療育はびわこ学園だけでとりくめるものでなく、各地の医療機関、保健所、市町村、児童相談所などとの連携が必要となります。滋賀県の障害をもった子供たちが医療、療育のネットワークでしっかり受けとめられる体制が作り上げられることを望んでいます。地域の医院、保健所、病院、そして障害児者の専門機関が有機的に結びついていくこと、その一つにびわこ学園も位置づけたいと思います。

これは滋賀県の「福祉圏構想」とも一致するものです。

（第一びわこ学園副園長）

図書館の活動 (57. 7. 1 ~ 9. 30)

- 7 / 1 JOIS 専門研修会
7 / 9 近畿北部地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会第 8 回開発委員会 (京大)
7 / 23 第30回図書館委員会
7 / 29 近畿地区国公立大学図書館協議会昭和57年度第 1 回企画委員会 (京大)
8 / 5 ~ 25 昭和57年度大学図書館職員長期研修 (図書館情報大学他)
9 / 1 ~ 3 第17回医学図書館員研究集会 (関西地区大学セミナーハウス)
9 / 9 近畿地区国公立大学図書館協議会第 7 回館長、事務 (部・課) 長連絡会議 (和歌山大)
9 / 30 近畿北部地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会第 9 回開発委員会 (滋医大)
-

編集後記

夏休みに入る前後にインタビューを行いました。基礎学課程の教官、大学院生、学外者の方達の声をきく機会がなく網羅的とはいえませんが、率直な意見をきくことができました。あえてまとめず、重複するところも、回答の表現のニュアンスをできるだけ再現するようそのまま載せました。22名の方、御協力ありがとうございました。

「さざなみ」と誌名変更してはや4号。利用者と図書館員の交流の場を提供し得たでしょうか。この号をもって新しい編集委員にバトンタッチいたします。ニューウェーブに乞御期待。

(渡辺、谷垣)



滋賀医科大学附属図書館報「さざなみ」

No.13 1982年9月発行

編集委員 渡辺幸子・谷垣 勲・小山靖裕

発行 滋賀医科大学附属図書館

〒520-21 大津市瀬田月輪町

Tel 0775-48-2076

Telex SGMLIB J 5464-911